

新型コロナ対策商品 Stronghold（砦）のご案内



新型コロナウイルス 対策用IoTデバイス

Stronghold が
お客様やスタッフの
安全を守ります



新型コロナウイルス 対策用IoTデバイス

Stronghold が
お客様やスタッフの
安全を守ります



無人で
OK!

「消毒促進」と
「密の見える化」を
実現

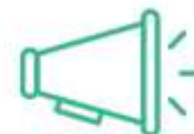
🔊 消毒を
お願いします



FEATURE #1

スタッフの 安全を守る

自動音声で 消毒促進



自動音声がお客様に消毒を呼びかけます。
受付にスタッフを配置する必要はありません。

FEATURE #2

お客様の 安全を守る

専用アプリで 密の見える化



センサーで入場者数をカウントし、
場内の「密」を見える化します。

「消毒促進」と「密の見える化」で 感染リスク回避



Strongholdは、人感センサーで人の近接を検出し呼びかけることで、オフィスや店舗に入る際の手の消毒忘れを回避。

また連携アプリにより、消毒液の残量や入場者数をカウントし「密の見える化」。
見えないウイルスを「見える化」することで、最大限の感染予防をサポート致します。

人感センサーが人を検出し消毒を呼びかけます



Strongholdは、入り口付近に消毒液と共に設置し、人やドアの動きを検知すると、「手の消毒をお願いします」自動で呼びかけます。ポンプを押し手の消毒が完了すると、「ありがとうございました」と応答します。

おしゃべり 応用機能

ランダムもしくは時間帯によって、呼びかける言葉を変えることができます。「おはようございます」などの挨拶を加えたり、「いつも守ってくれて、ありがとうございます！」などくだけた呼びかけにカスタマイズすることも可能です。

▶ サンプル音声を再生する

夜は 防犯に活用

営業時間中は、手の消毒を促し、密状態を把握する装置として。営業時間後は、人感センサーを利用して防犯装置としても活用可能です。警報音を鳴らし、「侵入者を検知、通報しました！」等の音声とともに、アラートメールを送ることも可能。時間帯や呼びかけ音声はカスタマイズ可能です。

連携アプリで「密の見える化」



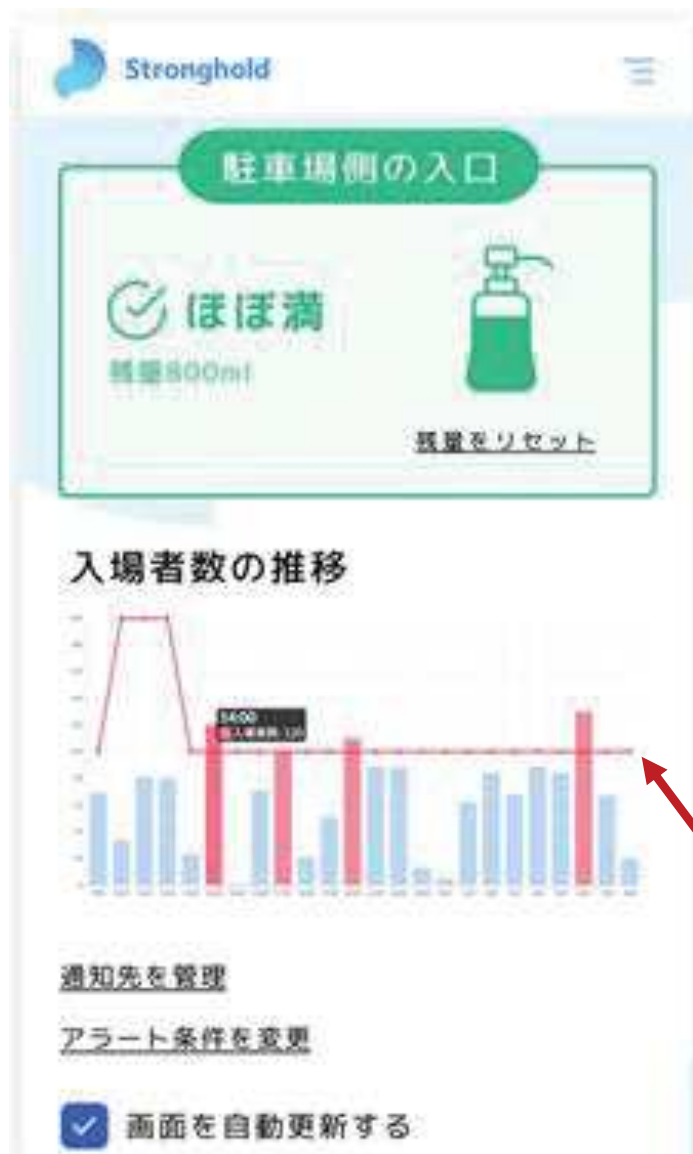
Strongholdは、消毒を呼びかけた回数を、消毒液のプッシュ回数をクラウドに記憶。連携アプリで離れた場所からでも消毒液の残量と入場者数の推移の把握が可能です。



アプリには複数の設置場所を登録し、任意の名前を設定可能。

入場者数によって色とイラストで混雑度合いを表示。入場制限に役立ちます。

場所ごとの消毒液残量を把握でき、補充忘れを防ぎます。



メールで お知らせ機能

入場者数がアラート値に達した時や、消毒液の残量が少なくなったときなど、メールでお知らせします。離れた場所からもそれぞれの状況が把握できるため、安全・安心な状態を保つことができます。

センサー反応数により入場者数をカウント。入場者数の推移により、「密の見える化」を行います。

アラートライン（任意設定）を超えると「密状態のお知らせ」をします



Stronghold 001

Stronghold 001構成

サイズ $\phi 100 \times H32 \text{ mm}$ ¥32,500 (税抜)

音声出力

4G通信

9軸モーションセンサ

外部機器連動機能付き



Stronghold 001本体

 $\phi 100 \times H32 \text{ mm}$ 

Stronghold人感センサ

50 × 55 × 14mm

ハーネス長1m



Stronghold専用ボード

125 × 25 × 15mm

- micro-B USBケーブル
- AC-USB充電器 (出力: DC5.0V/2400mA モバイルバッテリー代用可)
- 消毒ポンプボトル

こちらの3つは
お客様ご自身でご準備ください

Stronghold 001のしくみ



- 1 Stronghold人感センサが人を検出します。
- 2 Stronghold本体が、「手の消毒をお願いします」と呼びかけます。
※「手の消毒をお願いします」と呼びかけてから、8秒以内に手の消毒（ポンプを押す）を行わないと、再度「手の消毒をお願いします」と呼びかけます。
- 3 ポンプを押すと、Stronghold専用ボードがたわみ、Stronghold本体がそれを検出します。
- 4 Stronghold本体が、「ありがとうございました」とお礼をします。

人感センサが反応した回数、ポンプを押された回数、タイムスタンプ、位置情報（GPS）、気圧情報を10分毎（変更可）にクラウドサーバーに送信します。

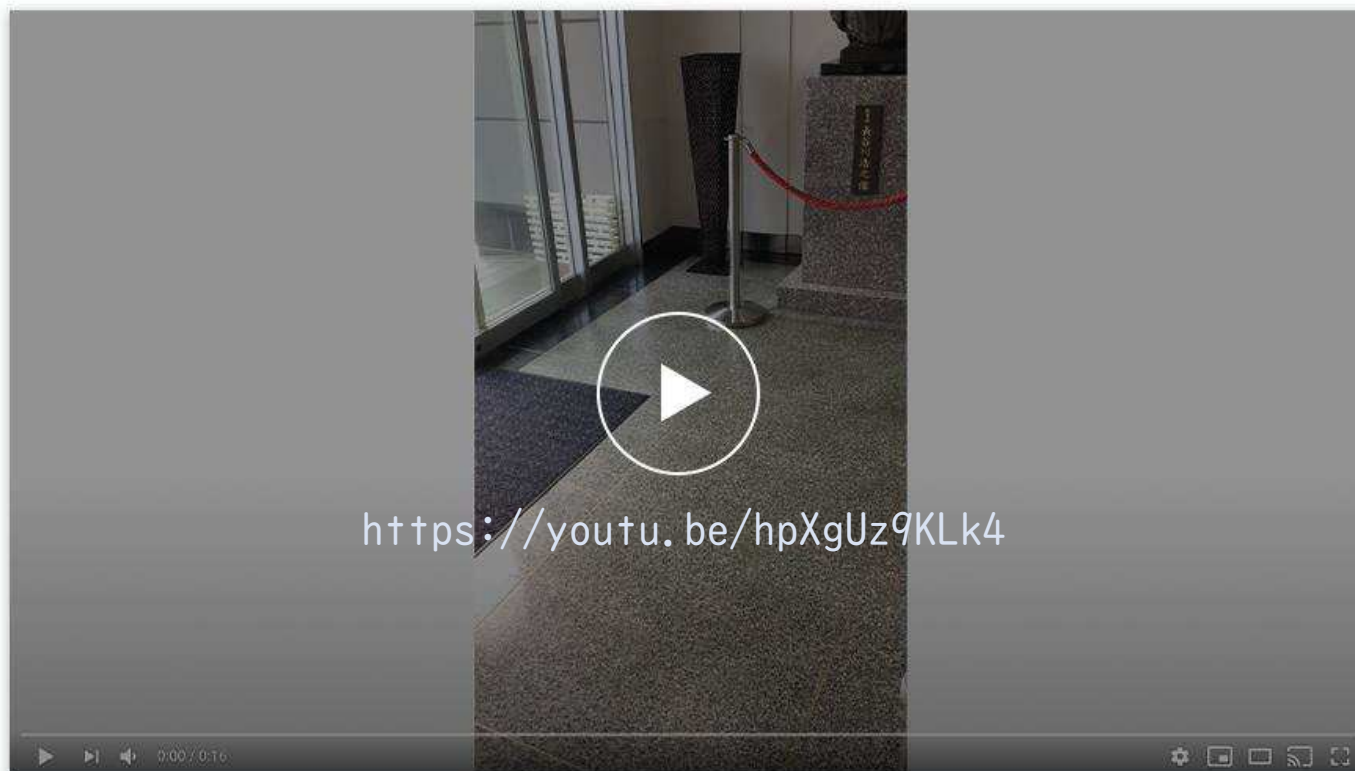
Stronghold 001自動ドア応用例



Stronghold 001は、外部機器との連携が可能です。

通信や制御信号を受信したり、送信したりすることができ、自動ドアとの連携も可能。

手の消毒を行わないと、自動ドアが開かないように制御できます。





Stronghold 002

Stronghold 002構成

サイズ W62 × L76.2 × H26.8mm ¥15,000 (予価)

音声出力

BLE通信

9軸モーションセンサ



Stronghold 002本体

W62 × L76.2 × H26.8mm

Stronghold 002設置方法



- 1 Stronghold 002がドアの開閉を検出します。
- 2 Stronghold本体が、「手の消毒をお願いします」と呼びかけます。

ドアが開いた回数、タイムスタンプ、位置情報（GPS）、気圧情報を、スマートフォン経由でクラウドサーバーに送信します。Stronghold 002とスマートフォンはBLE通信データの送受信を行います。

<https://youtu.be/MruwUlxExTw>

<https://youtu.be/9YxYx0LcynM>



✓ 入場者をカウントし「密の見える化」

Stronghold 001とStronghold 002からの情報で、「密の見える化」を行います。

スマートフォンやPCで確認ができ、消毒液の残量不足や、一定の入場者数に達した場合のお知らせ機能もあります。



✓ 混雑具合をアイコンでお知らせ

人感センサーが反応した回数で、入り口からの入場者数をカウント。予め設定した最大収容人数に対しての混雑具合を、アイコンでお知らせし、密を「見える化」します。



入場者数の推移



1時間毎の入場者数をグラフで表示可能。密になりやすい時間帯が視覚的にわかります。

✓ 消毒液の残量をカウントします

Stronghold専用ボードの上に置かれた消毒液のプッシュ回数を圧力でカウントし、消毒液の残量をカウント。残量の状態を10分に1回更新し、5段階のアイコンで表示します。



✓ 設置場所に応じてカスタマイズ可能

- ご要望に応じて音声出力を変更可能
例えば、バイリンガルや時間帯によってオリジナル音声に変更等、ご相談ください。
- Stronghold 001のセンサ感度調整
約1m～5m以内で1m毎に調整可能。（基本は3m）
- 入場者数の係数設定
入退出が同じ等、入場者数が実際と異なる場合、係数を使用し表示することが可能です。
- その他、ご要望がございましたらお気軽にご連絡ください。